





学校には楽しい給食の時間がありますね。食は生活の大切な一部であり、「食事」と「トイレ」は切つても切れない関係があるのに、人前で話すのは憚られます。そこで今回は、敢えてトイレをコンセプトにしたユニークなレストランが誕生した事をご紹介します。

学校には楽しい給食の時間がありますね。食は生活の大切な一部であり、「食事」と「トイレ」は切つても切れない関係があるのに、人前で話すのは憚られます。そこで今回は、敢えてトイレをコンセプトにしたユニークなレストランが誕生した事をご紹介します。

場所は台湾の高雄市の繁華街。店名は「MARTON」(マートン)と言います(マートンとは中国語でトイレの意味です)。このお店のスゴイところは便器の形の椅子が並んでおり、食器も和式や洋式の便器の形をしている事です。しかもメニューはウンチをイメージさせるソフトクリームまである禁断のカレーライスまである

飛びます(笑)。経営者は「特別な体験ができる」と胸を張っており、注目度も高いそうです。

用品店と勘違いして来客する方もいたほど、中はカラフルでファッショナブル!そして陳列している便器とテーブルにはガラスの蓋がされており、貝殻や砂など海辺の装飾品が飾られています。しかも各々の便器カバーには「味道」と表しており、便器の後ろにはトイレットペーパーフォルダー

冷笑すればそれまでですが、考え方によつては画期的な試みだと私は感じます。そもそもトイレの話を食事中に控えるのは、排泄物が不衛生で悪臭を放つからで、トイレが不浄の場として扱われてきたから無理は無いでしょう。

しかし健全な食事が健全な排泄につながり、健康な肉体

が作られ、健全な生活が営め

ることを正しく理解して教育すること、トイレを大切にすること、心の指導につながるのかもしれません。逆を言えば、これまでそうしなかつたから、トイレが汚くて当たり前だったのかかも知れません。

時には明るい話題としてトイレの話を楽しくする事も、

いいかもしませんよ。

この書籍は、雑誌「婦人公論」掲載の「井戸端会議」からセレクトされた鼎談(ていだん)集。

天気・禁煙・ラジオ・歩く・サル

花粉、そしてトイレなど等、司

会の糸井重里氏がその道の「権威

26人から経験と知恵を盗みまくったもの! その盗み

とつていく話術には、トイレ

のプロとして参加した糸井重里

志(株)アメニティ代表取締役

も、良い意味で手に汗をかい

たとか。後に聞いた話では「盗

んだものは利用しろ!」とば

かりに、糸井重里氏は自分の

会社のトイレを大改造したこと。

とにかくプロ技の情報が満載! 必見です!

## トイレの達人 Q&A 「お悩み解決」

第8回

### ■千 無臭 (せんの・むしゅう)

11月10日(いいといいの日)生まれ「トイレの達人」トイレのことで知らないことはないと言われている。

### ■千 無臭 (せんの・むしゅう)

トイレのことで知らないことはないと言われている。

トイレのことで知らないことはないと言われている。